

電気自動車用の充電設備の種類

1 急速充電設備(500V) … 写真は製品の一例



- 概ね30分でフル充電が可能。
- 充電時に、過充電や過電流、過電圧等の異常を防止し、適正な充電を行うための制御機能がある。

2 太陽光発電付き充電設備 … 写真はイメージ



- 走行時だけでなく充電時もCO₂を排出しない「カーボンゼロ自動車」の実現を目指した取組として、太陽光で発電した電力を利用した充電設備を6基設置。
- うち2基は蓄電機能をも兼ね備えた充電設備。
- 太陽光発電ができないときは、商用電力を使用。

3 充電設備(200V, 通常タイプ) … 写真は製品の一例

タイマー付き充電BOX型, スタンド型, コンセント型の3タイプを設置する。

(1) タイマー付き充電BOX型



- 区役所や運動施設、文化施設、駐車場施設など比較的多くの市民が利用する場所では、充電待ちを短くする観点から、タイマー機能付きのものを設置。
- スイッチによる充電操作で、安全面を確保。
- 概ね7時間でフル充電が可能。
(30分間の充電で10kmの走行が可能)

(2) スタンド型



- 時間設定ができるタイマー充電機能や、ダイヤルロック機能を装備。
- 過電流や感電に対する保護機能、充電中/エラー/タイマー残時間の表示機能を搭載。
- 電気自動車普及啓発用の展示モデルとして、環境教育にも活用するため、京エコロジーセンター、宝が池運動公園などに設置。
- 概ね7時間で概ねフル充電が可能。
(30分間の充電で10kmの走行が可能。)

(3) コンセント型



- 施設の外を駐車スペースとせざるをえない場所などには、コンセント型を設置。
- 防水性のコンセント。